

# 港区小碓学区

## 震災避難行動マップ

### わが家の津波避難先

①

②

津波避難先は、避難者の殺到に備えて、あらかじめ2か所以上考えておきましょう



### 凡例

- 広域避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 地下式給水栓

### 道路閉塞確率について

- 70%以上
- 40%以上~70%未満
- 20%以上~40%未満

南海トラフ巨大地震における被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震)を基に、建物の倒壊によって道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したもの。

※詳細は名古屋市「震災に強いまちづくり方針」P16-20を参照ください。

※建物データ：平成23年度建物用途別現状調査



### 指定避難所

災害が落ち着いた後、自宅が被災して自宅で生活できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設(主に公立の小中学校や一部の高校の体育館、コミュニティセンターなど)

施設名称	避難場所	収容人数
① 小碓小学校	体育館、集会室、トワイライトプレイルーム1,2	442
② 港北中学校	体育館、格技場、ランチルーム、会議室	649
③ 小碓コミュニティセンター	第1、第2会議室	42
④ 名古屋競馬場	第2スタンド、競馬場会館(体育館)	2,076
⑤ うぐいす幼稚園	教室、講堂	360

### 自分の命は自分で守る

**住宅の耐震診断・耐震補強、家具の固定**  
 ⇒港区では南海トラフ巨大地震後に、大津波に襲われることが想定されます。避難の妨げにならないよう備えておきましょう。

**備蓄品・非常持出品の準備**  
 ⇒南海トラフ巨大地震では、広範囲に被害が及ぶため物資の補充の停滞も想定されます。自分の必要なものを確認し、一週間分を目安に用意し、内3日分を非常持出袋に入れておきましょう。

**避難経路の確認**  
 ⇒地震はいつ起きるか分かりません。昼夜問わず、より安全な避難経路を確認しておきましょう。

# 地震発生！災害時の対応

## 南海トラフ巨大地震発生時の特性と対策

南海トラフ巨大地震（あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震）が発生した場合、**小碓学区では震度6強の非常に激しい揺れ**が想定されます。自分の身を守るため、**家具の転倒防止や住宅の耐震化**などの対策をしましょう。

**津波は名古屋港に最短96分※で到達**し、その後、**最大3.6mの津波**が到来すると想定されています。津波が見えてからでは間に合わないので、限られた時間を有効に使って津波避難ビルに避難しましょう。また、**液状化現象**も起きる可能性が高く、**堤防の沈下による河川の氾濫**だけではなく、建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通れなくなるおそれもあります。

これらを踏まえて、**適切な避難先、そこまで安全にたどり着くための経路を日頃から確認しておきましょう。**

※30cmの津波が到達する時間。30cmの津波でも、足を取られて流される危険性があります。

- 倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- 机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
- 屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊のおそれのある場所からすぐに離れる



- 扉を開けて出入口を確保する
- 安全を確かめて火を消す、ガスの元栓を閉める
- ブレーカーを落とし、水道の元栓を閉める
- 家族、隣近所に声かけし、安否を確認する
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集する

揺れが収まった

津波避難ビルを目指して避難開始

- 逃げ遅れないようにいち早く行動する
- 隣近所に大きな声で声かけしながら、あらかじめ決めた津波避難ビルに避難する
- 持てる量の非常持出品を持ち出す
- 落下物など周囲の危険に気をつける

## 地震発生

津波から安全に避難するための5つのポイント

①揺れが収まったら非常持出品を持って、津波避難ビルに避難！



②隣近所に声をかけ、原則、徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！



④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や河川には絶対近づかない！



## 津波発生時の地域での声かけ・手助け

隣近所、地域による「声かけ」と「手助け」が皆さんの大切な命を守ります。

地震の揺れが収まった後は、**隣近所、地域の皆さんで声かけ**し、助けを必要とする方がいないか、確認しましょう。

また、**日頃から避難に困る方を把握・共有**し、災害が発生した時には、いち早く助けができるようにしておきましょう。

### 情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)  
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語の苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など  
(対応方法)



### 移動が難しい方

(例えばこんな方)  
普段、杖や押し車、車椅子などを使っている方、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦など  
(対応方法)



### 戸建て住宅にお住まいの方

- ① 町内の組単位で声かけし、無事を確認しあう
- ② 無事を確認できた住民同士で、無事を確認できないお宅に大きな声で声かけし、無事を確認する
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルに避難する
- ④ 津波到達予測時刻の**30分前までに避難完了**する

### 集合住宅にお住まいの方

- ① お住いの階ごとに声かけし、無事を確認しあう
- ② 無事を確認できた住民同士で、無事を確認できないお宅に大きな声で声かけし、無事を確認する
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、火災や倒壊の危険がない場合、住宅の3階以上に避難する
- ④ 津波到達予測時刻の**30分前までに避難完了**する

避難してくる近所の住民を快く、迎え入れましょう

津波警報解除  
避難勧告解除

## 災害の危険解消

自宅での滞在が可能か



※避難所は小碓学区災害対策委員、市職員、または施設管理者が施設の安全確認をした上で開設する。